

支援は御“縁”から“始”まります。私たち3人の支援専門員が“縁”あって支援をさせていただくことから「支援→始縁だより」と名づけました。

# 支援だより

令和4年 新年号

令和4年 今年もよろしくお祈りします。

寅



新年、あけましておめでとうございます。

3月に1人息子が高校を卒業し、私の手元から飛び立とうとしています。1歳半から職場でお世話になり、先生方や職員のみなさん、近所の方々、多くの方から声をかけてもらって育ちました。コンビニショップ若鮎でおやつを買い、テーブル席でランドセルを広げて宿題をして、話かけてくれた大人に遠慮ない返答をするなど、見ていてハラハラしたことを思い出します。職場にはかなり自由にさせていただいたなぁと感謝しています。寂しいですが4月からは少し身軽になります。今年は足取り軽く、元気でみなさまに会いに行かせていただきたいと思います。どうぞよろしくお祈りします。

小田原 恵子

トウ



昨年は2月から産休に入り、3月には次男が誕生しました。皆様には担当の交代等でご迷惑をおかけしましたが、ご理解頂きたくさんの温かいお祝いや励ましのお声掛けを頂きました。本当にありがとうございました。

0才児と3才児との生活は毎日バタバタと過ぎ去っていきますが、コロナ禍の不自由な中でも子供たちの毎日は楽しい事だらけのようで、見習って楽しいことを見つけながら過ごしていきたいと思う日々です。

10月から復帰してまた皆さんとお話できることが嬉しく、新年も張り切って邁進したいと思います。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

矢田 智美

ドラ



やき

昨年はコロナ禍で何かと制限の中での1年でした。

2022年は穏やかに年があけ、毎年のごとく琴平さんに初もうでに出かけました。神社もコロナ感染予防のため、手水舎にはひしゃくは置かれてなく、アルコール消毒が置かれていました。このご時世「そうなんだ～」とアルコール消毒で清め今年一年の健康をお祈りしました。まだまだコロナが落ち着かないですが、感染予防を行い、今年も利用者さまと共に明るく笑顔で過ごす事が出来ますように頑張ります。

畑山 美喜